



【入試の心得】



1 入試当日までに確認すべきこと

(1) 入試会場の所在地・電話番号・受験番号・進路携帯番号をメモして持参する。

※受験する高校ではない場所が入試会場になっている場合は、事前に要確認。

(2) 集合時刻(着席完了時刻)の確認をしておく。

原則として **30分前に試験会場へ到着**できるように計画する。

→受験校内での移動の時間も考慮すること。

万が一に備え、複数の電車の時刻を確認しておくことよ。(例:「7:15 発の次は 7:28 発」)

(3) 持ち物等の確認を、前日の 明るいうちに済ませること。

受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に印刷しておくことを絶対に忘れない。 ・市郵: 受験番号のメモを持参する。案内掲示を見て教室へ入る。 ・万が一忘れた場合は、受験校の先生へ申し出て、指示を受ける。
筆記用具	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカー名以外の文字のないもの。キャラクターものや景品は不可。 ・シャープペンまたは鉛筆を複数本 (HB, 2B など受験校の指示に従う) ・プラスチック消しゴム <紙のケースを外して机の上に置く学校もある> ・鉛筆削りやシャープペンの替えの芯のケース <机の上に置けない学校もある> ・定規 (直定規) <私立の一部では、定規使用不可の学校もある。>
マスク 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験校によっては着用が強く推奨されている場合がある。
防寒具	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の換気のため、試験中も着用が認められている学校が多い。 ・「ひざ掛けは使用不可」など、使用できない防寒具が指示されていることがあるので、受験校の入試の注意事項などを事前に確認しておくこと。 ・単語や地図等がプリントされているものは着用しないようにする。
腕時計 	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な時刻に調整する。アラーム音や時報音が鳴らないように設定する。 ・腕時計を机の上に置いたまま座席を離れない。 ・菅など一部の学校では、教室内で腕時計が使用できないが、会場への行き帰りに現在時刻を知るために持参するとよい。→試験中はかばんの中にしまう。
上ぐつ	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校にスリッパを置き忘れたら、家にあるものを使う。中学校へ取りに来ない。 ・受験校や試験会場によっては、上ぐつは不要。(私立の一部) ・下ぐつを入れるビニール袋も持参するとよい。
お茶	<ul style="list-style-type: none"> ・温冷、量は各自の判断で。
ヘルメット	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車使用者は必須。ヘルメットをかぶったまま電車に乗らない。
交通費	<ul style="list-style-type: none"> ・交通系 IC (マナカ等) のチャージ額を事前に確認しておく。 ・予備の小銭もあると安心。→公衆電話のお金としても使える。
受験校から指示されたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・学校により、弁当が必要。→必要かどうかを確認し、2日前までに保護者に頼んでおく。 ・学校により、「健康チェックシート」に記入して持参する場合がある。 →必要な学校の場合、各自でダウンロードして印刷する。 ・その他、入試要項等を確認する。
その他 必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンカチ、ティッシュ、薬、カイロなど →ポケットティッシュを机の上に置く場合は、学校により外袋から出すように指示されることがある。使用済みのティッシュやマスクを受験校で捨てない。 ・面接の待ち時間に使う読書用の本や、“面接の達人” など・・・

スマホ・携帯電話を試験場へ持っていかない

(電源 OFF でも原則不可。)



- (4) **体調の管理も実力**のうち
・入試前数日間は、早めに寝て、早めに起きるようにするとよい。
- (5) **受験校のHPを毎日閲覧**し、最新の情報を確認する。
・TOP ページのほか、「入試情報」「受験生へ」「新着情報」などを確認。
・私立は、マイページや受験校からのメールも確認するようにする。

2 試験当日

(1) 気持ちよく家を出発する

朝ごはんを食べる。少量でもよい。 トイレを済ませてから家を出る。

入試当日は中学校への登校は不要。 自宅から直接試験会場へ向かう。

(2) 遅刻しない

寝坊での遅刻はもってのほか。

待ち合わせ時刻に友達が来なくても、時間になったら 遠慮なく先に出発する。

電車が混雑しているからといって、やり過ぎさない。(次の電車も混んでいる。遅刻したら意味がない。)

(3) 交通機関の乱れがあっても落ち着いて行動する

乗車中の電車が遅れた場合など、自分の責任ではない理由で到着が遅れた場合は、配慮されることが多い。

落ち着いて高校へ向かう。**高校到着時に事情を説明し、高校の指示にしたがう。**

(4) 試験前には、必ずトイレに行っておく

試験中の途中退出を認めていない学校がある。(一部の学校)

→トイレに立ち、教室へ戻ってくると、解答用紙が回収されていることがある。

もちろん、試験中に体調が悪くなった場合は、試験監督の先生へ遠慮なく申し出る。

(5) 試験はMAXの力で！ 油断せず、あきらめず、最後まで取り組む！

学力試験の成績で合否を判定するのはもちろん、頭髪や服装・身なりはどうか、試験中に居眠りをしていないか、問題用紙の余白に落書きをしないかなど、**試験に臨む姿勢をチェック**し、合否の判断材料としている学校もある。

受験番号や氏名は、試験の**最初に真剣に書くこと。**



(6) その他 いろいろ

①降車のために**車を高校周辺に停車させない。** 高校周辺の**お店に駐車しない。**

②問題の内容や、解答のしかたについての質問はできない。

印刷が不鮮明だったり、ページ抜けがあったりした場合のみ、質問することができる。

③試験中、受験票を置く位置に指示があれば、指示された場所に置く。

④**万が一忘れ物に気づいても、取りに帰らない。** 高校の先生に伝えて指示を受ける。

⑤入試終了後はすみやかに帰宅する。

校門や昇降口等で、友達を待つことはしない。

家に着くまでが入試。 寄り道をしない。

緊張も不安も、キミががんばってきた証！ 全力を尽くし、合格の喜びを味わおう！

入試当日の**体調不良**により、**別室受験** or **追加入試を希望**の場合 岩崎中学校へ連絡。

岩崎中学校 0568-75-2081

テトルに入力しない

※私立の場合、追加入試があるかどうかは、学校により異なる。また、受験種別により異なる。※